

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			現状は満たしている。利用日数を確保し、利用者に安心してもらうために、曜日の見直しや人員増にも努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		玄関、室内において、段差は無くしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			結果を、教室やホームページに掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			本部から、運営状態の確認や年数回来所してもらい、アドバイスを受けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			コロナ禍で研修への参加が難しいが、zoomを利用した研修・個人へのオンライン研修を行っている。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者との面談を行い、話し合いながら適正な計画を策定しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			客観的な把握をするために、画一的シートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			子供達の様子を観察しながら、年間カリキュラムと整合性を取り策定している。スポーツを取り入れながら、学習面もチームで策定していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			年間プログラムに沿って、固定化しないように工夫している。

支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			農園や海などに行き自然に触れ合う特別なプログラムなどを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			特性や支援内容・役割分担など適切な療育の為に必ず話し合いをし決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			一日の療育がどうだったか毎日振り返りを必ず行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日誌を入力し、一日一日の記録をとっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			女子生徒には女性指導員が対応し、細かい事まで話し合えるようにしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			お迎え時や、学校の連絡帳、担当者会議などで情報を共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4	対象者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			ハッピーテラス本部が中心となり、明星大学心理相談センターと連携し、助言を受ける事ができる。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		地域の自立支援会に参加しています。コロナ禍で活動も限られてしまっています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			利用した日の様子や活動内容を、お迎え時に必ずお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		個別対応は行っているが、トレーニングなどについては今後検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			お迎え時や、6カ月ごとに面談を実施して、随時個別に対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4		コロナ禍での集団による活動は自粛中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			毎月、ハッピー通信を発刊しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			鍵の付いたキャビネットで保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1	農園で作った野菜などを地域で販売したりしながら交流は図っているが、コロナ禍でもあり、今後検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			社内研修の開催と虐待チェックリストにて確認業務を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			4	身体拘束は禁止、記載はしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			毎日のミーティングでも共有しています。

令和 3 年 2 月 27日現在

ハッピーテラス豊見城教室
合同会社コーラルツリー
代表社員 小林 充